

筑後平坦地域における小麦「ニシホナミ」の良質安定栽培法							
<p>〔要約〕小麦「ニシホナミ」の良質安定生産のためには、10a当たりの施肥窒素量は、<u>適期播</u>では基肥6kg、追肥6+2kgとし、<u>早播</u>では基肥4kg、追肥6+2kgとする。<u>播種量</u>は適期播、早播とも7kg/10a(130~150本/㎡)が適する。</p>							
筑後分場・普通作物研究室						連絡先	0944-32-1029
部会名	農産	専門	栽培	対象	麦類	分類	普及

〔背景・ねらい〕

小麦「ニシホナミ」は、製めん適性が高く、耐倒伏性に優れている点で、「農林61号」に替わる品種として筑後平坦地域での普及が期待されている。反面、千粒重が小さく、未熟粒が多いとの指摘もあるため、良質安定栽培法の確立が急務となっている。また、共同乾燥施設運営上の面から、成熟期の早進化が望まれており、早播での栽培法を含めた技術確立が必要である。

そこで、「ニシホナミ」の良質安定栽培技術を確立するとともに、早播における栽培法を明らかにする。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 適期播では、播種量は7kg/10aとし、基肥窒素量6kg/10a、追肥窒素量6+2kg/10aとする。この施肥量での千粒重は大きく、原粒のタンパク含量は安定して高い(表1、2)。
- 2 早播では、播種量は7kg/10aとし、基肥窒素量4kg/10a、追肥窒素量6+2kg/10aとする(表1、2)。
- 3 早播においても、短程で倒伏程度が小さく、多収であるため、早播適応性は「農林61号」より高いものの、適期播に比べて品質はやや劣る(表3)。
- 4 早播した場合の収穫時期の前進化程度は、平年並の気温で経過した場合(平成8年)は7日程度、暖冬年(平成9年)では4日程度である(表4)。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 筑後平坦地域における小麦「ニシホナミ」の良質安定栽培技術の普及指導資料として活用する。
- 2 施肥窒素量は前作稲わらの鋤込み条件での数値であるので、稲わら持出し圃場では基肥窒素量を1kg程度減ずる。

[具体的データ]

表 1 播種時期及び播種量と生育・収量・品質(平成8～9年の平均値)

播種時期	播種量	出芽数	稈長	倒伏程度	有効穂数	千粒重	精麦収量	リットル重	検査等級	原粒のタンパク含量
	kg/10a	本/m ²	cm		本/m ²	g	kg/a	g		%
適期播	4	82	64	0	343	28.6	28.2	752	3.9	8.3
"	7	131	67	0	389	29.0	32.1	770	3.8	8.7
早播	4	90	79	0.4	366	29.6	37.9	769	5.0	8.4
"	7	140	80	0.5	422	29.6	39.3	780	5.1	8.8

注)①播種時期は適期播が11月25日～12月3日、早播が11月7日
 ②施肥法は適期播が6+4+2kg/10a、早播が4+4+2kg/10a
 ③倒伏程度は0(無)～5(甚)、検査等級は1(1上)～6(2下)、リットル重は平成9年の値

表 2 播種時期、基肥量及び追肥量と生育・収量・品質(平成8～9年の平均値)

播種時期	基肥量	追肥量	稈長	倒伏程度	有効穂数	千粒重	精麦収量	検査等級	原粒のタンパク含量
	kg/10a	kg/10a	cm		本/m ²	g	kg/a		%
適期播	4	4+2	66	0	380	28.5(98)	28.4(88)	4.3	8.6(98)
"	4	6+2	69	0	417	29.4(101)	32.8(102)	4.6	8.9(102)
"	6	4+2	67	0	389	29.0(100)	32.1(100)	3.8	8.7(100)
"	6	6+2	68	0.2	393	30.0(103)	34.6(108)	4.1	8.7(100)
早播	4	4+2	80	0.5	422	29.6(102)	39.3(122)	5.1	8.8(101)
"	4	6+2	81	0.6	457	29.9(103)	42.0(131)	5.2	8.9(102)
"	6	4+2	78	0.5	408	29.6(102)	39.6(123)	4.3	8.4(96)
"	6	6+2	80	0.6	438	29.6(102)	39.5(123)	4.7	8.6(98)

注)播種量は7kg/10aで、()内は適期播の6+4+2区を100とした指数で示す

表 3 農林61号との比較(平成8年)

播種時期	品種	施肥量	稈長	倒伏程度	有効穂数	千粒重	精麦収量	検査等級	原粒のタンパク含量
		kg/10a	cm		本/m ²	g	kg/a		%
適期播	ニシホナミ	6+4+2	71	0.1	427	30.8	37.3	3.1	8.6
"	農林61号	"	82	1.6	429	31.3	36.0	3.3	9.1
早播	ニシホナミ	4+4+2	82	0.8	441	29.4	39.5	5.9	9.1
"	農林61号	"	93	2.3	443	30.0	38.3	6.1	9.5

注)播種量は適期播が7kg/10a、早播が4kg/10a

表 4 ニシホナミの出穂・成熟期

播種時期	出穂期(適期播との差)		成熟期(適期播との差)	
	平8年	平9年	平8年	平9年
	月・日(日)		月・日(日)	
適期播	4.20	4. 9	6.04	5.23
早播	4. 9(-11)	4. 5(-4)	5.28(-7)	5.19(-4)

[その他]

研究課題名：小麦「ニシホナミ」の良質安定栽培法

予算区分：経常

研究期間：平成9年度(平成8～9年)

研究担当者：福島裕助、許斐健治、石丸知道

発表論文等：平成8～9年度 福岡県農業総合試験場作物部会 秋冬作試験成績概要書